

11月のない綺麗なまち



5月12日、町内一斉クリーン作戦が各地で実施されました。少肌寒い朝となりましたが、海岸方面や山方面では、早朝6時頃からゴミ拾いをする方々の姿が見え始め、8時になると大留地区や上ノ国地区など、多くの地域でも活動が開始され、空き缶や容器などを回収し、1、2時間ほどの清掃活動に勤めました。毎年、道端に捨てられたペットボトル類や、海から漂着した発泡スチロールなどもあるものの、地域で捨てられたようなものは年々減少傾向にあり、一人ひとりの配りが町をきれいに保っているのと感じられます。

これからも町全体が団結し、住んでいて気持ちのいい町にしていきたいでしょう。

現場で活かせる日頃の訓練



5月12日、上ノ国町消防団による消火活動時の練度向上を目的とした図上訓練が初めて実施され、約30名が参加しました。

これは、消火栓の位置などが記された地図を広げ、どの消火栓にどの分団が優先して向かい、放水や給水のホースをどの様な組み合わせで接続するかなど図上で判断するシミュレーション訓練です。

これについて団員は、講師の消防職員から提示された問いに、これまで経験をもとに的確に配置の優先順位を示していました。

今回の訓練で、飛鳥消防団長は「いざ出動となったとき、前回の出動が数年前と違ったことも珍しくないため、定期的に消火活動の再確認を行える訓練の意義は大きい」と話し、6月に予定されている実地訓練でも同様に団全体の練度向上に努めるとのことでした。

ラウンドアバウト運用前に、説明会を開催



5月9日、大留地区で運用が開始される予定の「ラウンドアバウト交通点」に係る説明会が、町や国土交通省北海道開発局函館開発建設部主催のもと、ジョイじよぐらにて開催されました。

以前から広報誌等でお知らせしていた同交通点ですが、いよいよ工事の完了が近づき、今年秋にも実際の運用が始まります。

その運用方法や、今回の説明会では通行方法や、豪雪地帯における導入手順の紹介などを含めた総合的な解説が行われ、これまでにない規模での説明会となりました。

ラウンドアバウト交通点は北海道初導入という点もあり、一部不安の声もありますが、今後広報誌や説明会などで詳細を逐次お知らせしますので、運用開始までに正しい通行方法などを身に付けてまいりましょう。

後世に伝えていきたい光景 湯ノ岱風物詩のゼンマイ



5月13日、好天が続く湯ノ岱地区において、春の山菜「ゼンマイ」が一斉に天日干しされている光景を目にすることが出来ました。

ゼンマイは、炒め物やお味噌汁の具として昔から地域に愛されている山菜で、今年も5月上旬から近隣の山々で地域の方々が収穫していました。

気温の低い日が続く今春でしたが、近日の好天によって一斉に生育したと見られ、家々の軒先には簾が広げられ、その上にゼンマイをほぐしながら干している様子が散見されました。

道路沿いでゼンマイを干している鈴木湯ノ岱町内会長にお話を伺うと、「ゼンマイは山頂付近から下に向かって徐々に育つ。今年はおがり」が良くなかったが、好天で気温も上がり一気に育った」と話し、春の楽しみとして採れるだけ採りたいとのことでした。